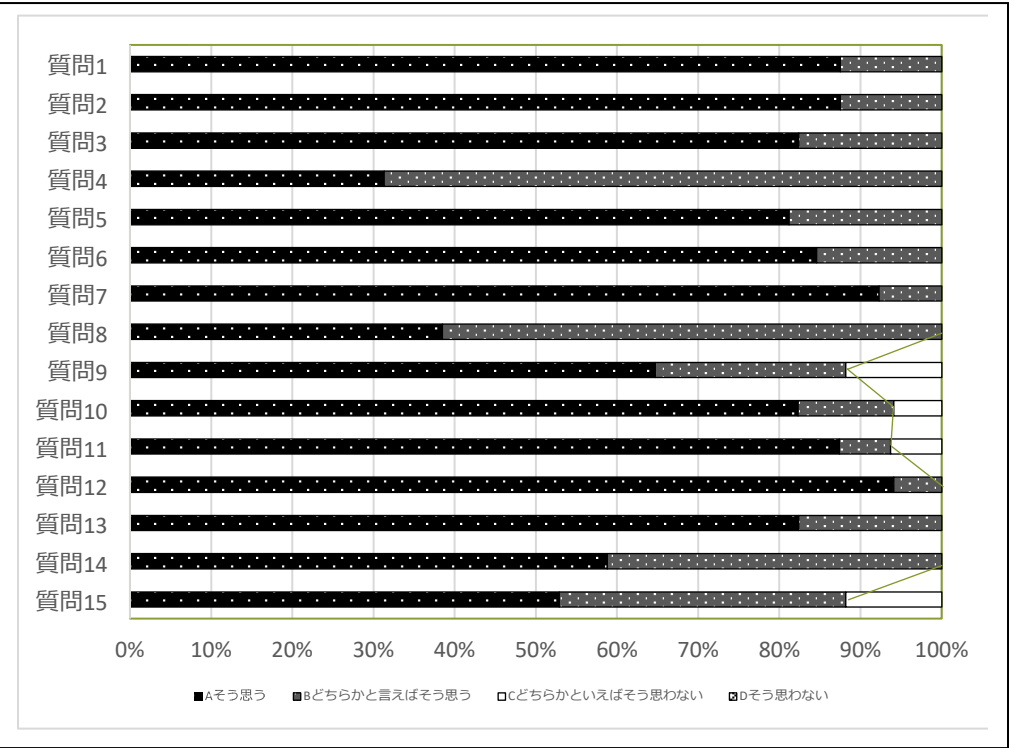


調査の趣旨

学校経営方針を踏まえ、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について全教職員で評価を行う。子どもたちが よりよい教育活動を受けることができるように、アンケートの結果から学校の教育活動の状況を見直し、改善を図っていく。

結果グラフ



質問内容 回答数 17人 実施時期 令和7年12月

	質問内容	A	B	C	D	肯定的評価 (A+B)
1	「板橋区授業スタンダード」や「生活スタンダード」を活用し、学校の「学習・生活のきまり」を生かした指導の徹底及び充実を図っている。	87.5	12.5	0	0	100
2	児童一人ひとりの実態に応じた支援等を継続的に行っている。	87.5	12.5	0	0	100
3	学校経営方針に示す子ども像を踏まえた教育活動を意識して取り組んでいる。	82.4	17.6	0	0	100
4	学ぶ喜びを実感できる「個別最適×協働」型のデザインの推進など、校内研究と関連した授業を日常的に実践している。	31.3	68.7	0	0	100
5	タブレット端末等を用いて、一人ひとりの考えを共有化し、全体へ可視化するなど、深い学びの実現に取り組むことができるよう、指導者として範を示している。	81.3	18.7	0	0	100
6	「考え、議論する」授業等、「特別の教科 道徳」の趣旨に沿った授業を年間計画に基づいて、計画通り実施している。	84.6	15.4	0	0	100
7	道徳科・各教科等で、いじめ防止のテーマと関連させた授業（年間3回）を実施している。（今後実施する）	92.3	7.7	0	0	100
8	授業等で地域や外部機関等を活用した学習を行っている。今後実施する。（A 年間のべ6回以上、B のべ5～3回、C のべ2回、D 2回未満）	38.5	61.5	0	0	100
9	コミュニティ・スクール委員会での熟議の内容や活動について理解している。また、その内容等を踏まえた教育活動・行動連携に努めている。	64.7	23.5	11.8	0	88.2
10	児童が挨拶や廊下歩行等を進んで行うことができるよう、指導者として範を示している。	82.4	11.8	5.9	0	94.2
11	異学年交流等を通して、互いの人格を認め、励まし合い、学び合いながら、和やかに学校生活を送る児童の育成をしている。	87.5	6.3	6.3	0	93.8
12	「志村第一あったか先生」として、体罰防止等、服務事故防止を意識して、教育活動を進めている。	94.1	5.9	0	0	100
13	教育公務員として、報告・連絡・相談・経過及び結果報告を行うなど、組織を踏まえた行動をすることができる。	82.4	17.6	0	0	100
14	月間時間外勤務45時間以内に向け、週1回以上の定時退勤、TO DOリスト作成等、自身の勤務時間短縮に努めている。	58.8	41.2	0	0	100
15	校務分掌等で、学校業務全体の改善に向けた取組を、自ら積極的に考え、取り組んでいる。	52.9	35.3	11.8	0	88.2

成果と課題

- 【成果】多くの教員が「児童一人ひとりの実態に応じた支援」や「報告・連絡・相談の徹底」において、「A」をつけている。これは、個々の児童に対するきめ細やかな対応と、組織としての情報共有が円滑に行われていることを示している。「タブレット端末等を用いた考えの共有化と可視化」についても、多数の教員が「A」または「B」と回答しており、ICTを活用した「対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みが日常的に行われていることが分かる。
- 【課題】「校務分掌等での自発的な業務改善」について、「C」を回答する教員が2名いた。効果的、効率的な取組を自ら積極的に考え、実践する力や風土を高めていく。

今回のアンケートの結果を踏まえ、今後の学校運営や授業の改善に努めてまいります。

